

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

提出区分	実績	整理番号	14	課題区分	B	令和6年5月20日		
横断的な課題								
地域重点政策	3 地域の中で安心して生活できる環境を整え、次の世代につなぐ					北アルプス地域振興局		
実施機関	大町保健福祉事務所			担当課	所属	福祉課		
事業名	障がいのある人とない人とのスポーツなどを通じた交流事業				電話	0261-23-6508		
					E-mail	omachiho-fukushi@pref.nagano.lg.jp		
事業の概要等	目的 (目指す姿)	ボッチャやフライングディスク等のスポーツ・リクレーションを共に楽しみながら交流を深め、障がいのある人もない人も一人一人の違いを認め合いながら共に生きることのできる地域をつくる。						
	現状と課題	2020東京パラリンピックの開催等により、パラスポーツ(障がい者スポーツ)については広く認知されつつあるが、障がいのない人(健常者)による体験会が主になっており、障がいのある人とない人が共にスポーツ・リクレーションを楽しむといった機会は、北アルプス地域においてもまだまだ少ない。 なお、令和10年(2028年)に長野県で開催予定の、第82回国民スポーツ大会・第27回全国障害者スポーツ大会では、大町市総合体育館で6人制少年男子と精神障がい者のバレーボールが開催されるため、パラスポーツの理解促進が期待される。						
	内容 (変更後の内容)	○ボッチャ等体験会の開催 下記のとおり、ボッチャ等の体験会を実施した。 ・大北地区障がい者運動会(6月10日:大町市総合体育館)において、ボッチャ、フライングディスク体験会を実施 ・ボッチャ体験講習会(3月9日:大町市常盤公民館) ○ボッチャ等の普及啓発 地元紙や有線放送などのメディア他あらゆる機会を通じて、ボッチャやフライングディスク等のスポーツ・リクレーションを地域に紹介するとともに必要な用具を調達し、用具の貸出や講師派遣を行うことにより普及啓発を図った。						
	事業期間	令和5年4月		～	令和6年3月			
事業費等	(単位:円)							
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考				
	ボッチャ等体験会の開催 ボッチャ等の普及啓発	ボッチャ等体験会、普及啓発のための講師派遣	0					
		ボッチャ、フライングディスク体験のための用具調達	84,700					
合計		84,700						
指標及び達成状況	成果指標		目標値	成果	達成状況			
	ボッチャ等体験会アンケート結果 満足度		参加者の6割以上	21%	○ 達成			
	地元紙などによる広報		2回以上掲載	10回	● 一部達成			
	ボッチャ等体験会の参加人数		24名	241名	○ 未達成			
事業実績・成果	○ボッチャ等体験会の開催 大北地区障がい者運動会(6月開催:参加者263名(選手等209名、スタッフ等54名))では、ボッチャ及びフライングディスクの体験を競技プログラムに入れることにより、それぞれの競技へ全員が参加し楽しめた。アンケート結果では、回答者50名のうち次回も参加したいが90%、大会運営への満足度は92%と高い評価を得たが、回収率は24%と低かったため、選手等209名のうち6割以上が満足したかどうかの確認はできなかった。 ボッチャ体験講習会(3月開催:参加者32名)は大町市公民館、県ボッチャ協会との共催で開催した。体験講習会への参加をきっかけに新たなサークルが発足し、月2回の活動が始まるなど、ボッチャ普及の機運が高まるきっかけとなった。 ○ボッチャ等の普及啓発 ボッチャ、フライングディスク競技の紹介及び用具の貸出、体験会の開催などの情報を、市町村広報誌及び地元紙に掲載した。障がい者スポーツは市町村の協力も得ながら地域へ広がりつつある。							
今後の方向性	引き続き、大北地区障がい者運動会での体験や講習会の開催により、競技人口を増やすとともに、障がい者スポーツを地域に広める役割を担う、意欲ある指導者の育成にも力を入れていく。体験することで競技の楽しさや達成感を味わい、県障がい者スポーツ大会等への出場へつながる動機づけとなるよう、様々な機会をとらえて普及啓発のための情報発信を行う。							